



貿易体制と通貨

令和7年4月30日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

変動相場制と貿易体制は、自国産業と資本において、経済の確立を与えるものである。しかしこれらは巨大資本において、そのコントロールが可能であるという現実を与えるのである。

それら現実において経済における安全保障という判断を用いるとき、自国の経済の育成と運営、自国通貨の安定性など、経済の健全な運営と確立へ政治がその判断を求められることは存在すると考える。

これらは外交という合意とともに、自国経済の確立を実現できるものであり、経済の本質は生活と国家の維持であるということは否定できるものではないのである。

これらは実体経済と金融経済への正しい考察である。これらが自国の安全保障とともに正しい経済政策を要求するのである。

実体経済は生活と国家を支えるものであり、金融における実体経済への支配は、これら自国安全保障における大きな脅威なのである。

経済は明らかに正しい国家の基盤である。今日のそれら進歩は新たな豊かさの創造を可能とできるものである。

但し、これら実体経済は資本主義の下金融経済の支配を否定できないのである。これらは明らかに大きな経済の安全保障における脅威であり、グローバル経済の実像なのである。

これらは実体経済の育成が、未来における新たな社会と国家の創造を実現できるものであるという理解は正しい理解なのである。

これら判断は自国の経済運営への正しい理解基盤であり、それら新たな経済政策は、未来という現実の構築を可能とできるのである。また生活と経済は不可分の現実であり、経済政策の是非は、国家の未来を決定するのである。